

公益財団法人かがわ産業支援財団では、今回で16回目となる企業経営者と知事との意見交換会を11月5日、高松市内のホテルで開催しました。

今回は、「Society5.0を踏まえたICT技術の活用」をテーマに、企業経営者10名の皆様にお集まりいただき、県からは浜田知事、浅野商工労働部長、財団からは大津理事長、さらにオブザーバーとして県内中小企業の経営者8名が参加し、活発な意見交換が行われました。

令和元年度 企業経営者と知事との意見交換会



Contents

2020年1月 vol.75 発行(年4回発行)

かがわ産業情報 21

【理事長新年のご挨拶】	1
【トップニュース】	
企業経営者と知事との意見交換会を開催しました!	2
【特集】	
香川県信用保証協会と連携強化で覚書を締結	5
「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」が開催されました!	6
県内の小学校で希少糖出前講座を開催しました!	6
かがわ糖質バイオフォーラム 第12回シンポジウムを開催します	6
「知財マッチング in かがわ2019」を開催しました	6
【支援事例紹介】	
株式会社オギタヘム	7
「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の令和2年度事業を募集しています	7
【財団の活動】	
かがわ冷凍食品フォーラム 第7回シンポジウムを開催しました	8
サイエンスフェスタ2019(in 香川高専高松)にブースを出展しました	8
RISTかがわ機器利用講習会を開催しました	8
「FABEX関西2019」に香川県ブースを出展しました	8

「香川県新技術・新工法展示商談会in三菱電機株伊丹製作所」を開催しました ～香川のものづくり企業の新技術・新工法を三菱電機株式会社伊丹製作所に直接アピール～	9
「四国ビジネスマッチング2019(合同広域商談会)」を開催しました	9
「モノづくり受発注広域商談会」を開催しました	9
『かがわ地場産業商談会2019』を開催!	10
「HOSPEX Japan 2019」に香川県ブースを出展しました	10
【財団からのお知らせ】	
「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」 ～最終審査に残ったビジネスモデルの公開プレゼンテーション～	
「かがわ発!先進的ビジネスモデル2019」～大賞、優秀賞を表彰します～	11
「FOODEX JAPAN 2020」に香川県ブースを出展	11
「第54回スーパーマーケットトレードショー2020」に香川県ブースを出展	12
香川大学大学院地域マネジメント研究科ビジネススクール 「地域の中小企業と経済活性化」 ～企業経営の第一線で活躍する講師による公開講座を開催中!～	12
【かがわ発!元気創出企業】	
昔からのつながりと長年培った技術力が新たな活路を生み出す 株式会社キョーワ	13

葵機工(株)

常務取締役 山中 治

事業概要 精密機能部品加工及び組立



主に自動車のエアバック部品を生産しており、1日24時間のうち、夜間を自社独自の予測管理技術により完全無人稼働で対応している。品質保証の要求に応えるため、IoT技術を使った生産管理や予防保全を行っている。今年度、県のAI補助金を活用し、製品の外観検査を人的判定からカメラによるAI判定へと置き換え、品質改善に繋げている。課題は、ソフト開発できる人材の確保、協力工場の開拓、物流コストの削減、定年再雇用者の支援制度の拡充であり、行政の後押しをお願いしたい。

知事

IoT、AI等の活用ができる人材の育成・確保は極めて重要であり、「かがわAIゼミナール」や各種技術研修会を実施しているので、活用頂きたい。協力工場の開拓では、財団の広域商談会等も活用頂きたい。物流コスト削減については、関係機関とも話をしてみたい。定年再雇用問題は、国も様々な支援制度を設けており、情報提供して参りたい。

アオイ電子(株)

取締役社長 中山 康治

事業概要 IC、LED等の電子部品製造



IC、LED、プリントヘッド等の電子部品の製造を行っており、IC組立工程においては、1万品種を超える少量多品種に対応するため、IoTを活用した生産管理に取り組んでいる。特に車載関連では、生産設備のオンライン化や工程内の自動搬送化などにより、生産工程の革新を進めている。課題は、こうしたシステムの構築に対応できる情報技術者の不足及びIoTにより設備を繋ぐための費用の増大であり、助成制度があれば活用していきたい。

知事

財団では、香川高等専門学校の協力も得て、組み込み技術やシステム開発に必要な業務分析等の研修を行っているので活用頂きたい。今後、県としても情報通信関連産業の育成・誘致やICT系人材の育成に積極的に取り組みたいと考えている。国・県では、研究開発や生産性向上のための様々な助成金を設けているので、ご相談頂きたい。

(株)五星

代表取締役社長 武内 和俊

事業概要 土木分野の調査・計画・許認可対応・設計



建設コンサルタント業と3Dレーザーキャナやドローンを活用した測量業を行っており、昨年度は3D測深機の導入など、先端的機材の充実を図った。また、自社開発した地理情報システムにより、固定資産税の課税支援事業を展開しており、現在、地目判読のAI化にも挑戦中で、いずれは道路、橋など社会基盤の点検評価への応用を計画している。このような先端的な技術や機材が活用できるよう、公共事業の発注方法について、同業種連携の承認など柔軟な対応をお願いしたい。

知事

建築では、設計共同企業体を認めた実績はあるが、土木で

は、実績が無いので、今後、他県の状況を確認したうえで必要性を検証していきたい。先端的な技術や機材を入札条件とすると、一般論として競争性が失われたり、地元企業が参加できなくなるなどの問題点があるが、この点については、今後、国の方針も改善されていくのではないかと考えている。

(株)コヤマ・システム

取締役社長 佐野 弘実

事業概要 ソフトウェア作成・それらの関連事業



IT技術でものづくりの付加価値向上を図るため、製造現場の安定稼働を実現するための設備監視ドライブレコーダーの開発、販売を行っている。また、乳牛の「削蹄電子カルテ」や、中小企業が少額の初期投資でシステム開発できる「育てるアプリ」の開発、販売にも力を入れている。しかし、企業間のIT格差は大きく、中小零細企業のシステム導入は、まだまだ敷居が高いため、リテラシー向上のための施策や、アドバイスができる機関連携が必要だと考える。

知事

ITを活用できる企業を拡大していくためには、人材育成が不可欠となるため、県で実施している「かがわAIゼミナール」等を活用頂きたい。加えて、財団の新かがわ中小企業応援ファンド等事業は、ITの先端技術にも活用できるので、是非活用頂きたい。また、ITに関する相談については、産業技術センターのIoT・AI相談窓口や、財団のよろず支援拠点をご紹介して頂きたい。

四国計測工業(株)

専務取締役 藤川 智

事業概要 四国電力の連結子会社である製造メーカー



当社は主に、電力関係設備製造およびメンテナンス工事等を行っている。制御システムを得意としているが、最近では画像処理技術を用いて、医療関係でインフルエンザワクチン製造に必要な有精卵の自動検卵装置を開発した。今後も、画像処理技術やAI技術を使って開発を進めていきたい。県への要望として競争入札条件の緩和をお願いしたい。また、事故防止の観点から、ICTを取り入れて、悪質な交通違反を防止することも検討してはどうか。

知事

事故防止に繋がる高度道路交通システムは現在、国が主体で取り組んでいるが、自動運転技術では、香川大学などによる公道実験も行われている。県でも、高齢者の運転診断なども実施しているが、死亡事故の抑止は喫緊の課題であり、新しい技術なり知見があれば、是非ご紹介頂きたい。入札の件は、施工管理実績も必要と考えており、ご理解頂きたい。

(株)ジョーソンドキュメント

代表取締役 川田 辰男

事業概要 産業機器及び設備等に関連するドキュメントの受託開発事業



当社の主な事業は、産業機器や設備などの操作手順書やマニュアル類などの受託開発であるが、最近

では、XR技術を取り入れたドキュメント作りにも取り組んでいる。XR技術の導入で、企業で行われている教育訓練や研修などのスタイルは様変わりすると考えており、安全体感型教育ツール、技術継承ツール、トレーニングツール、プレゼンテーションツールなどの開発を進めていきたいと考えている。香川県が将来、ICT系ベンチャー企業が集まるような、ICT先進県に発展できるよう、ご尽力をお願いする。

知事

学校現場では、プログラミング教育など情報教育への対応が進められているが、県としても、時代の要請に対応できるよう、ICTを活用した教育の充実に努め、創造性に富んだ人材を育成していきたい。教育も産業振興も双方において、情報通信関連産業の育成・誘致、人材の育成に組み込み、県内企業の競争力促進に繋がるように今後も取り組んでいきたい。

(株)タイホー

代表取締役専務 今治 安弘

事業概要 各種軸受部品の製造及び、機械設備の開発、設計、製作とオーバーホール



主にベアリング及び自動車部品関係の旋削・熱処理工程において、外観検査の自動化に取り組んでいる。最近では、ロボットと検査装置を組み合わせる箱詰め作業の自動化も推進している。課題は、ものづくり人材の確保が困難なことである。昨年よりベトナム人の技能実習生を採用しているが、今後は、外国人労働者も都市部に流れる恐れがある。地元での就職を希望する人が選べる技術系の学校、専門学校の拡充や、ものづくりへの補助金の拡充が必要と考える。

知事

県内には、基礎技術習得のための県立高校工業科、職業訓練のための県立高等技術学校や私立専門学校、四国職業能力開発大学校があり、また、大学、高専とも連携し、技術系人材の育成に努めていきたい。外国人労働者については、人材が定着するような取組みを進めていきたい。また、補助金については、国・県で様々なメニューを設けているので、経産局と連携し情報提供に努めていきたい。

(有)電マーク

代表取締役 中野 裕介

事業概要 2018年度総務省「異能vation破壊的挑戦部門」最終選考



当社は、2018年に、総務省の「異能vation破壊的挑戦部門」で、鶏の雛の雄雌をAIで鑑別する技術を提案し、四国で初めて最終選考に選ばれ、その解析に取り組んできた。今後は、雌雄鑑別技術の海外展開や、香川の卵用「讃岐コーチン」での雌雄鑑別技術の確立に組み込み、香川県産品種の輸出、さらには海外で広がる日本食ブームに貢献したいと考えている。そのために、養鶏産業の安定に繋がる技術開発に取り組むべく、畜産試験場等との連携ができるような機会を頂きたい。

知事

畜産試験場は、一般的な技術を公共のために活用する場であることから、御社の専門知識である雌雄鑑別技術と畜産の専門分野をうまく連携させるためには、まず、商工労働部あるいは財団に相談頂ければ話が繋がりやすくなると思う。また、

具体的な海外展開の話については、ジェットロ等にどんどん持ち込んで、展開して頂きたい。

(株)パル技研

代表取締役 藪内 廣之

事業概要 産業用電子機器の研究開発、製造販売



画像センシング技術等をコア技術に自社製品を開発しているが、エンジニアの採用がままならず、危機感を感じている。学生の多くは大都市の大企業に目が向き、県内の魅力ある企業に気が付いていないので、企業情報をプッシュ型で積極的に情報配信すれば、県内企業への就職、U・Iターンに繋がると思う。また、AI・IoTの新しい技術では、中小企業のエンジニアの力量不足は否めないで、サポートや支援を頂ける公的機関の研究員等の人的強化が必要と思う。

知事

プッシュ型の情報発信として、県では、県内外への大学等進学者の将来的なUターン・県内就職を促進するため、県内企業の魅力や情報を発信する「KAGAWA未来応援BOOK」を希望者に送付しており、今後とも情報発信に努めていく。人的資源の強化については、産業技術総合研究所との連携や産業技術センター職員の能力向上などを行い、地元で支援ができる体制を作っていく。

メロディ・インターナショナル(株)

代表取締役 尾形 優子

事業概要 IoTにより、妊婦さんの安全を守ります



妊婦と胎児の状態を医師が遠隔でモニタリングできる国内初のIoT型胎児モニターを開発し、国内・海外で販売している。ここ10年、産婦人科医の減少や病院の集約化で産科施設が減少する一方、働く妊婦やリスクのある高齢出産は増えており、安心・安全な出産環境を提供するためには、行政や大学、企業などが課題を共有し、協力することが必要であると考えている。当社のような小さな企業だけで取り組むのは難しく、国内規制もあるので、ご協力をお願いしたい。

知事

医療分野での社会課題の解決には、先端技術の活用が必要である。県では、医療機関、福祉施設が参画した「かがわ健康関連製品開発フォーラム」を運営しており、医療福祉関係者からニーズを聴き取り、企業に繋ぐこととしている。こうした取組みを通じ製品開発に進んでいければと考えており、産業政策課とも情報交換を行って頂きたい。

